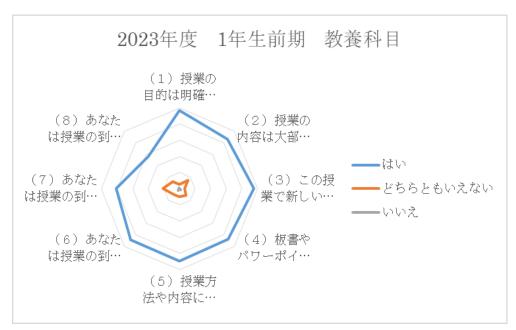
2023年度 授業アンケート結果

本学では、全科目について履修学生を対象にした授業アンケートを実施し、シラバスの見直し及び授業改善に活用している。 授業アンケートは全科目共通の8項目の質問を設定し、内4項目(1.授業の目的は大部分理解することができましたか、2.この授業で新しい

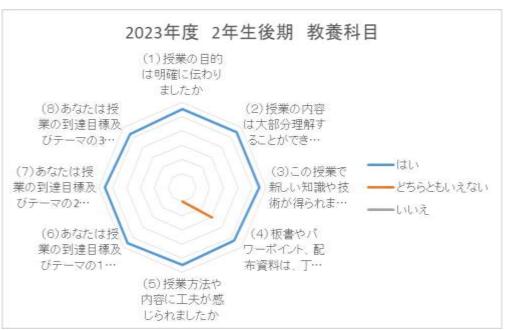
知識は得られましたか、3.板書やパワーポイント、資料配布は丁寧で分かりやすかったですか、4.授業方法や内容に工夫は感じられましたか)を担当教員への評価に関する項目、他 4 項目(5~7.シラバスに掲載された各授業の到達目標 1~3 の達成度を問う)を学生自身の自己評価に関する項目として設定している。また、学生が自由に授業について意見を記入する自由記述式のアンケートも同時に実施し、広く意見を収集している。

ここでは、全科目共通8項目の質問調査の結果概要を公表する。

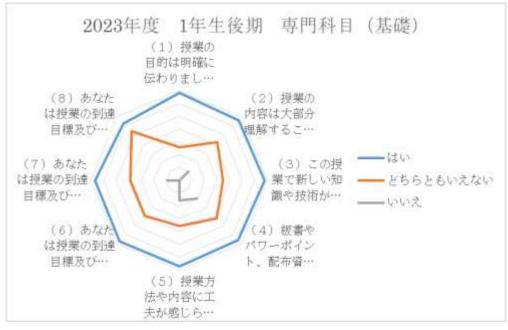






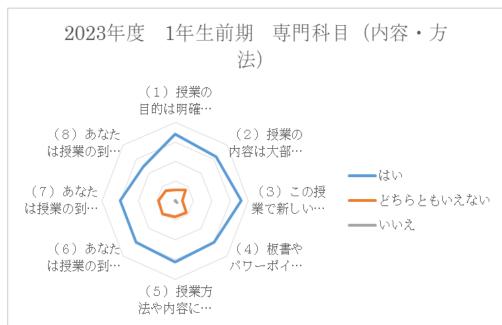


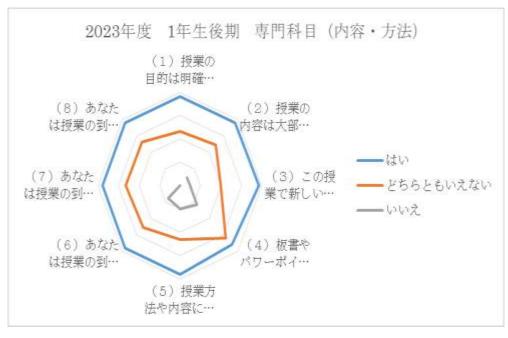


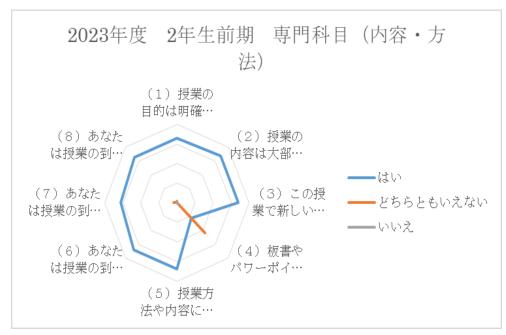


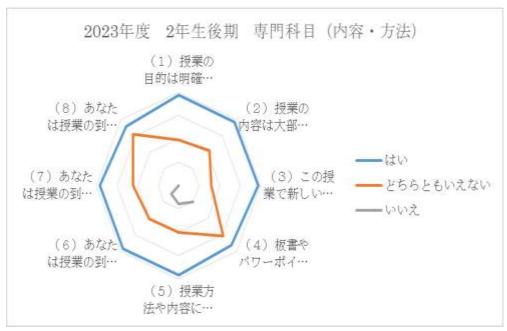












分析

2023 年度開講科目の授業アンケート結果は、教養科目、専門科目(基礎)、専門科目(内容・方法)共におおむねの学生が授業の目的や内容を理解している印象である。

授業の到達目標については、前期の回答が後期に比して低い印象である。特に、1年生の結果が顕著であった。入学年度の前期は、自身の 習熟度についての見通しや大学での学び方への見通しが持てておらず、回答が控えめになったものと考える。一方、後期にはそれらの評価も 高まっている。このことから、前期を経て大学での学びについての具体的な見通しや要領を得て、より能動的に学修に取り組めていたものと 考える。

この結果を受け、特に1年生前期の学生に対し、シラバス掲載内容の説明、到達目標についての説明が重要であると考える。年度当初オリエンテーション及び各授業において十分に周知・説明をするよう全教員で共通認識を持ちたい。